

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：西條委員（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第4回 防災・あんしん部会			
(2) 開催日時	令和7年10月1日（水） 13：30 ～ 15：30			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室			
(4) 出席した 委員、事務局等 ＜敬称略＞	委員（部会長：志村 陽子）			＜敬称略＞
	蛭子 明子	山内 京子	竹内 千代江	栗田 修平
	生駒 友一	北畠 拓也	西條 由美子	川端 英吏子
	近藤 博子	石塚 由江	大江 千枝	
	事務局：山下 潤二、秋山 仁志、上玉利 芳綱、小林 琴葉			

1 連絡・確認事項

(1) 司会・書記の確認（司会：山内委員、書記：西條委員）

(2) 参加者・配布資料の確認

欠席者 名川委員、福田委員、窪田委員

(3) 第3回運営会議報告（志村部会長）

志村部会長より、【資料1】を抜粋して報告。

・資料に記載は無いが、防災・あんしん部会が11月3日のスペシャルデーに参加することを伝えたところ、「防災・あんしん部会だけでなく、自立支援協議会についても案内した方がよい」という意見が出たため、自立支援協議会についても案内する。

・10月22日 区の防災会議が開催される。志村部会長が参加予定。

2 前回専門部会の振り返り

第3回の議事録の一部とご意見カードのまとめを事務局が読み上げた。

3 議題

スペシャルデーでの出展内容について

○作業部会での検討内容の報告（会場レイアウト）

【資料4】【資料5】の一部を事務局より読み上げた。

・（事務局より）作業部会の中で動画を流すという話になったが、セキュリティの関係で、プロジェクター・パソコン・USB等は各委員で用意していただきたいと話あり。

→プロジェクターとパソコンについては部会長が用意。現時点では壁に直接投影する予定。

○具体的な展示内容

・何を流すか→既存の動画（要配慮者や避難行動要支援者に関する）と、まちあるきの写真をスライドショーにしたものでどうか。

・過去の取り組みで、総合防災訓練など参加したときの写真もある。また、個別避難計画の取り組みのDVDもあるので、それを流せると良い。

・掲示物について→障害種別ごとに、災害時「こうしてほしい」と困りごとをまとめて、パーテーションに貼りたい。

・導線に合わせて、掲示物のテーマを分けた方が良い。

- ・アンケート内容は、質問に対する答えをあらかじめ用意しておき、そこにシールを貼ってもらう方法と、付箋に「困ること」「心配なこと」を書いてもらう方法と2つにする。
- ・廊下は誘導するような掲示物を貼り、自立支援協議会や防災・あんしん部会についても初めに掲示する。コピー機側に「障害種別ごとの困り感をまとめたもの」を貼り、ロッカー側に「あなただったら…」というアンケートを貼る。スタンプラリーの机に付箋等を置く。
- ・スペシャルデーは毎年参加しているが、当事者の参加が少ない。掲示やアンケートだけだと興味を持ってもらえない。ゲームとか楽しめる企画や、当事者が学べることを盛り込めるといい。
- ・前回、意見が出ていた「やってほしいこと」「できること」を貼れると良いと思う。
- ・ヒューマンライブラリー的なことをやってみたり、手話を覚えられたりすると良いのでは。座敷は少し高くなっていて、縁側みたい。そこで何か話せると良いと思う。ボランティア室は場所的に人が来づらい場所になっているため、人を呼ぶ意味でもスタンプラリーを置いてもらった。そこに手話のポスターなどを貼るのも良いのでは。→聴覚団体が手話講座の企画をやるため、内容がかぶってしまう。
- ・防災・あんしん部会なので、「防災」について困りごとをまとめて、それを貼ってもらうのが良いのでは？各団体が区へ要望書を出しているが、返ってくる回答にっかりすることがある。中央に机を置いて、何かを書いたり、おしゃべりできるのが良いので。
- ・初めは真ん中にパーテーションを置く予定だったが、車椅子の人の導線を考えると移動しづらいため、パーテーションは外すことにした。机の方がパーテーションより大きいので、置くなら端が良い。
- ・視覚障害者としては、真ん中にパーテーションがあった方が、導線がわかりやすい。導線がわかるように、矢印を貼ったとしても視覚障害者には見えない。
- ・取り外しできる点字ブロックがあったと思う。それを導線代わりに使うか？
- ・掲示物も大切だが、来場者とコミュニケーションを取ることも大切。「〇時には誰がいて、こういうお話ができる。」というものがあってもよいのでは。
- ・スペシャルデーでの今回の企画は、何を目的にするか？私は防災に関するものを用意してほしい。「自立支援協議会」というのも初めに掲示すると、「難しそう…」と思われる気がするので、最後がいいと思う。クイズとか、入口に人を引きつけるような工夫があると良い。
- ・【資料5】のレイアウト図にある段ボールベッドと椅子のところに机を置いて、ミニあんしんカフェ風にしたらどうか。スタンプラリーを押しに来た人とはおしゃべりするようにする。
- ・ボランティア室は狭いため、できるだけ物は置かない方がよい。来年度大きい部屋を取れるようにし、今回は障がい者の理解・啓発、防災のことをちょっとでも知れるようにした方がよい。
- ・昨年度作成した「まちあるき」のマップを貼るのはどうか。段ボールベッドは1つの案。他に提示したいものがあれば、それでも構わない。ハザードマップは現在冊子になっている。地図版があればそれを貼れる。
- ・動画に関しては、リハーサルをする必要があるか？→10月終わり頃にやる。

- ・映像と展示物がリンクするといい。これまで、防災・あんしん部会でやってきたステッカーやクリアファイル、旗、バンダナなども展示したい。
- ・これまでの意見を考慮すると、レイアウトをコピー機側にまちあるきマップ、ロッカー側に障がい種別ごとの困りごとに変えた方が良いと思う。
- ・防災・あんしん部会で取り組んできたまちあるきマップやヘルプカードと、各団体の困りごと（要望書）、来た人が参加できるアンケートを掲示・展示するというのどうか？
- ・部屋の狭さに関しては、「わざとこんな狭いところにしたんですよ」という不便さを利用して良いのでは？実際の避難所も狭く、互いに譲り合うと思うので、ボランティア室も車椅子の人が通りづらいなら、物をどかしてあげたりすればよい。装飾はやってもよいのか？風船などが1つあるだけでも、子どもたちにとっては何だろう？と気にしてくれる気がする。
→装飾に関しては、やっても構わないと思う。ヘルプカードに関しては、1階でも案内するため、3階ではヘルプカードを作った経緯を掲示すると良いと思う。

・当日の人員体制

イベントは10:30～14:00、当日準備は9:30～（可能な方）

- ・障がい別の困りごとに関しては、各団体の意見を集約し、22日（水）までにまとめてもらう。障がい特有の困りごとを出してほしい。→事務局で内容をまとめて、当日掲示。動画に関しては北畠委員と石塚委員を中心に進める。

4 委員及び各関係機関からの情報提供

（1）情報提供

- ・蛭子委員より大田区肢体不自由児者父母の会の研修
11月6日（木）10:30～12:00 要支援者向け防災講座（講師は石塚委員）
- ・竹内委員より 東京デフリンピック2025 開幕直前イベント@スマイル大森
10月4日（土）9:30～ 講演会、体験会
- ・志村部会長より「区民企画講座 ユニバーサル社会って誰のもの？」
10月23日（木）、11月6日（木）、11月13日（木）全3回
- ・栗田委員より 11月16日 総合防災訓練に参加予定
要配慮者スペースに避難できるか？を地域の人に見てもらうために参加する。
（福祉管理課より依頼。山内委員も参加予定。）

（2）ご意見カードの記入

※来年度のスケジュールについて → 来年度も毎月第1水曜日に開催する。
事務局で来年度の貸館予約するための確認。

※次回の日程 第5回専門部会：令和7年11月5日（水）13時30分～15時30分
会場：さぽーとぴあA棟5階多目的室